水・緑・空　笑顔かがやく　ふれあいのまち

広報よさの YOSANO

No.65

●主な記事

02　CLOSE UP　ママとこぐまちゃん
16　よさの人　大野博史さん

●今月の表紙

田植え体験祭（6月5日撮影）

2011
7

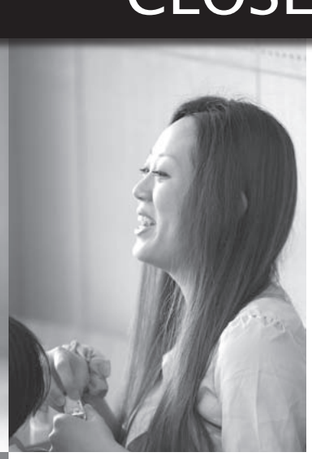
子育てサークル

ママとこぐまちゃん

子育てを楽しんでいますか？

母親たちの活動拠点を目指して

響き渡る子どもたちの笑い声、笑顔で談笑する母親たち。月に2回、子育て支援センターを利用して集まっているという子育てサークル。今回は、無限の可能性を秘めた元気いっぱいの「ママとこぐまちゃん」を紹介します。



子育てサークルと聞くと子育てを終えた人が子育て中の親を支援するイメージを持たれるかもしれませんが、「ママとこぐまちゃん」は、それぞれのメンバーが0～3歳の子どもを持つ子育て真っ最中のママたちです。自分たちも助け合って子育てをしながら、ほかの母親の力にもなりたいという思いのもと活動しています。

●支援センターの存在

生まれてすぐの子供をもつ母親は子供につきっきりとなり、家の中にこもりがちです。外出する機会も減り、閉塞感や孤独感を感じてしまうケースもあります。「結婚を機に与謝野町に越してきて、あまり知り合いがいなかったので、ますますそう感じた」と話す代表の酒井さん。特に出産後の2～3ヵ月くらいの間は強く感じたといいます。また、子育てや地域のことを教えてくれたり、悩みの相談をできる人がいなかったため、情報を集めるにも苦労したそうです。

そんななか「子育て支援センター」の存在を知り、さっそく参加。保育の専門家が話を聞いてくれたり、子どもと遊んでくれたりと、とてもよいところで、「もっと早く知っていれば」と感じたそうです。

そこで知り合った母親たちと情報交換をしたり、集まって本音で話したりするうちに、「みんな、同じ悩みを抱えているんだ」そして、「それぞれのメンバーが『お母さん』であると同時に一人の自立した女性であり、好きなことや得意なことを持っている」ということに気づいた酒井さん…

●サークルの発足

子どもを持つと当たり前のように「○○ちゃんのお母さん」としてしか見られないようになり、「自分」という存在は埋没して、見失ってしまうという一面があります。「同じ悩みをもっているのだったら集まってなにかをしよう！」「それぞれの得意なことを活かせばきっとなんでもできるはず！」と酒井さんが中心となり、今年の初めに子育て支援サークル「ママとこぐまちゃん」が発足しました。

そして、自分たちがもっと早くに知りたかったことをこれから母親になる人やまだ知らない人に伝えること、親子どうしの交流の場を提供し、お母さんにリフレッシュしてもらうことなどを基本に活動を開始しました。

右ページの写真右上／酒井智子さん、右下／砂後恵さん、左上／小西真衣さん、左下／佐々木和代さん。　左ページ写真左上・右下／6月30日にふれあいセンターでママとこぐまちゃんが主催した座談会の様子。サークルのメンバー7組の親子のほかに、9組の一般の親子が参加し、出産体験や子育てなど共通の話題で盛り上がったり、子どもたと遊んだりしました。座談会は、おしゃべりや交流を楽しむだけでなく、情報交換にも貴重な場となっています。

サークルの活動は、支援センター等を利用しての定期的に集まるほかに親子でふれあうリズム遊びや、春の行楽などのミニイベントを企画しました。なかでも花屋さんを講師に招いて開催したフラワーアレンジメント講座は、ブログや口コミで参加を呼びかけ、多くの親子の参加者を得ることができ、大きな自信につながりました。

イベントなどで初めて会ってもすぐに打ち解け一緒に遊び始める子どもたち。そんな子どもたちの新たな表情を見つけると、改めて「子どもってかわいいなあ」とうれしくなり、そして「そう思えることがとても大切なんです」といいます。

●可能性は無限大

活動の範囲は広がり、ほかの子育て支援団体が開催するイベントに参加したり、講師として招き、サークル運営や子育て支援に関する講義を聴いたりと積極的に活動を展開していきます。「私たちのサークルはまだ動きだしたばかり。他のサークルや団体を手本に、活動の幅を広げたい」。

メンバーも少しずつ増え、現在では8人。メンバーは随時募集中だといいます。「なにかを企画したり、運営したりと聞くと遠慮してしまう人もいるが、お母さんの友達を作りに来るだけでもいいので気軽に参加してほしい」ということです。

サークル運営で基本としていることは「できることをやる」ということ。子どもたち、子育てを第一に考え、無理せず活動すること。「無理をしたり、サークルのためになにかを犠牲にしたりすると、子どもに必ずしわ寄せがいってしまう。無理をしなくても、できること・得意なことをそれぞれがやっていけば、サークルとしていろいろな活動ができるはず」可能性は大きく広がっているんですよ」と彼女らは語ります。

●「自分」らしい子育てを

「お母さん」として埋没してしまいがちな自分を見つめなおし、「自分が自分として子育てすること」を大切にしています。また、「母親がほかの人と協力してなにかを成し遂げるところを子どもに見せることや、大人たちとふれあう機会をもつことは子どもにとってもプラスになると思います」とも。

今後は、子育て情報をもっと多くの人に届けるために、サークルの存在を知ってもらうことを目標として活動していくということです。そのためにも、サークルのメンバー・参加する親子が交流し楽しむためにも、さまざまなイベントを企画して実行していきたいそうです。そして、子育てに関する情報を収集し、共有・発信し、また、要望や疑問をあつめたりと、子育ての拠点となることが将来的なビジョンです。

●子育てしやすい町へ

ゆくゆくは子育てを通して地域の世代間交流が実現したいといいます。「たとえば、お年寄りや中高生が自然と赤ちゃんとふれあうような。子どもとふれあうことで、お年寄りには心のやすらぎを感じてもらい、中高生には知識として学ぶだけでなく、体験として命や性について学んでもらう。多くの人とふれあうことは子どもたちにとっても得るものは多い。そうして、地域全体で子育てができるようなまちになれば、若い人も帰ってきやすいのではないでしょうか」と大きな夢を語ってくれました。その思いには「将来、自分の子どもにもこの与謝野町に帰ってきてもらいたい」という母親としての願いも込められているのだといいます。

健やか広場 ▶▶夏ばて予防と水分補給

「夏ばて」という言葉は、皆さんにも聞きなれた言葉でしょう。しかし、その原因や症状について正しく知っていますか。

ひと昔前まで、夏ばては猛暑によって体力低下や食欲不振などの症状が現れることを指していましたが、冷房設備が普及した現在では、暑い屋外と冷房の効いた涼しい室内の温度差によって、体温調節機能がうまくはたらきにくくなることが原因で引き起こされる症状のことを指すようになってきました。体のだるさや食欲不振だけにとどまらず、不眠や立ちくらみなど、その症状はさまざまです。体温の調節を行う神経は血圧や睡眠のコントロールも行っているので、頻繁に温度差のあるところを行き来すると、神経が疲れ、はたらきが乱れてしまい、睡眠や血圧にも影響がでます。

このように梅雨どきから盛夏にかけての暑い時期におこる神経の疲れによる症状をまとめて、「夏ばて」と呼んでいます。

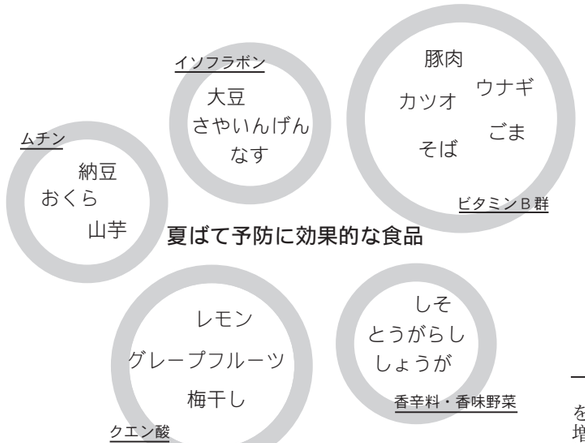
冷房とうまくつきあおう！

これから猛暑が続く季節が始まります。熱中症を予防するためにも冷房を使うことが必要となりますが、使いすぎないように注意しましょう。

夏ばては体温調節を担う神経の疲れによるものです。この神経が疲れなければ、夏ばてにはなりにくくなります。つまり急激な温度変化を避けることで、夏ばてになる可能性を減らすことができます。強い冷房を避け、屋外と室内の温度差が５度以内になるように冷房の温度を設定しましょう。また、室内にいるときには窓を開けるなど、風通しを良くすると蒸し暑さが軽減することもあります。うちわやせんすなどを用いるのも一つの方法です。

食事はしっかりとろう！

夏ばてを予防するには、バランスの良い食事をとることも大切です。夏ばての予防にはビタミンB群やクエン酸、イソフラボンなどの栄養素が良いとされています。ビタミンB群は体内に取り込んだ炭水化物をエネルギーに変えるはたらきがあり、クエン酸・イソフラボンは疲労回復に効果があります。ほかにも胃の粘膜を守るムチンなど、夏ばてに効果的な栄養素は数多くあります。食欲のない時は香辛料や香味野菜で食欲を増進しましょう。



こまめな水分補給を

夏ばては体温の調節がうまくいかないとおこりやすくなりますが、体温の調節に非常に重要な役割を果たすのが水分です。人間の体の約70％は水分です。この水分が、栄養分の体内循環や、老廃物の排泄などの役割も担っています。

暑い季節になるとたくさん汗をかくようになります。このとき思った以上に水分は体の外に出ていきます。この失われた水分を補給しないと、老廃物が体内にたまりやすくなり、また体温の調節も難しくなってきます。熱中症の予防にも水分の補給が大切だと言われますが、これも速やかに体の中にこもる熱を体外へ放散させるためです。

普段の日常生活でも、気づかないうちに汗は出ています。そんなに暑くないので平気だと思っていても、意外に多くの水分が体外に出ていきます。１時間にコップ半分程度を目安に、水分を補給するようにしましょう。また冷たすぎるものは胃を冷やすことになり、消化不良の原因にもなります。水分を補給するときには冷えていないお茶などがよいでしょう。

農作業やスポーツなど、汗をたくさんかいたときには塩分も体外へ出ていきます。このようなときには塩分も補給する必要があります。経口補水液やスポーツドリンクなどでしっかり補給しましょう。

●高血圧・腎疾患・糖尿病など方は水分や塩分・糖分の補給について主治医と相談しておきましょう。

暑い日々が続きますが、体調に気をつけてこの夏を乗り切りましょう！

がんばってます！消防団

編集●加悦方面隊

夏場の火の気にご用心！

花火やバーベキューといった夏のレジャーに「火の気」はつきものですが、例年、花火の誤った遊び方やレジャー器具の誤った使用等に起因する出火・やけどの事例が、数多く報告されています。ここではその代表的な事例を紹介します。わずかな「火の気」も、一歩間違えば火災につながります。火の取り扱いには十分注意し、夏のレジャーを楽しみましょう。

File 1 花火で火災

木造地上２階地下１階建てペットショップから出火し、約 280 平方メートルを全焼し、犬約 200 匹が死んだ。（平成 19 年　愛媛県）

●**原因**　ペットショップの２階で子供が花火で遊んでおり、花火の火が付近の可燃物に引火し、火災に至ったもの。

注意　花火は屋外で、周囲に可燃物が無いことを確認してから始めましょう。万一のとき、消火できるように水の入ったバケツなどを用意し、注意事項を必ず守りましょう。子どもは必ず大人と一緒に遊びましょう。

File 2 浴衣に火が燃え移って全身やけど

祭で石段に立ててあったろうそくの火が女児の浴衣に燃え移り、全身にやけどを負った（平成 14 年　福井県）

●**原因**　石段に沿いの石垣のろうそくの火が消えかかっていたため、風をさえぎろうと手をかざしていたところ、足元の石段の別のろうそくの火が浴衣の裾に燃え移ったもの。

注意　綿素材の浴衣は火がつくと瞬く間に燃え拡がります。火に近づきすぎないよう注意しましょう。

File 3 バーベキュー中にカセットボンベが爆発

カセットこんろに鉄板を置いて調理をしていたところ、カセットボンベが爆発して３人が顔などにやけどを負った。（平成 17 年　新潟県）

●**原因**　カセットこんろ全体を覆うような大きい鉄板を使用したため、カセットボンベが鉄板の輻射熱で加熱されてボンベ内の圧力が異常に上昇し、爆発したもの。

注意　こんろを覆うような大きな鍋などは使用しないでください。炭をこんろの上の金網に乗せて火をおこしたため、炭の熱でボンベが加熱され、ボンベが爆発したという事故も起こっています。直接、炭をおこすのも危険です。使用前は取扱説明書をよく読んで正しく使ってください。

消防防災フェアを開催します！

主　催：与謝野町消防団
会　場：野田川わーくぱる
日にち：９月２５日（日）

みなさまのお越しを
お待ちしています！

File 4 着火剤のつぎ足しで大やけど

公園で、バーベキューを再開しようと、残り火にゼリー状の着火剤を使用したところ、「ボン」という音がした後に２～３メートル離れた場所にいた女性の衣服が燃えて大やけどし、他の２人も軽いやけどを負った（平成 15 年　大阪府）

●**原因**　残り火がある状態で着火剤をつぎ足したため、着火剤が急激に燃焼し、飛び散ったもの。

注意　着火剤には、揮発性が高く引火しやすいメチルアルコールが使われています。絶対に「つぎ足し」はしないでください。また、点火は注意事項をよく読んで正しく行ってください。

平成 23 年度全国統一防火標語「消したはず 決めつけないで もう一度」

ALTリレーコラム［第8回 私の大好物 by クローダ・パワー］ COLUMN

私はスイカが大好きです。7月になるとスーパーマーケットにはスイカがたくさん出ています。切ったものも丸ごとのものも色々あって、私はいつもその涼しくて美味しそうな赤と緑の誘惑に負けてしまいます。日本の夏はとても暑くて、寒いアイルランドから来た私にとっては少し耐えがたいですが、甘くて水分の多いスイカを食べると幸せな気分になります。

スイカはただ美味しいだけではなく、健康にもいいです。スイカの約９２％は水分で、暑い夏の日にはぴったりです。また、アミノ酸もたっぷりでとてもヘルシーな食べ物だそうです。やはり、美しくて、おいしくて、栄養もあるスイカは完璧な食べ物ではないかと思っています。

スイカが大好きです

でも、残念ながら私の国のアイルランドでは、スイカは手に入れにくいです。アイルランドの気候はスイカ栽培に合わないため、すべて遠くから輸入されたもので数が少なくて値段も少し高いです。更に私の町は田舎にある小さい町ですからスイカは売っていません。

次に、私が２番目に大好きな食べ物は、アイルランドのどこにでもたくさんあります。それはジャガイモです。

ジャガイモはスイカと違って、美しいと言われないかもしれませんが、アイルランドの寒くて湿った気候にぴったり合います。昔は、何百年に渡ってアイルランド人は主食のジャガイモに依存していました。でも19世紀に、当時イギリスの支配下だったアイルランドでジャガイモの疫病が流行して、ジャガイモが枯死したことで100万人以上の人が亡くなり、何100万人が飢饉をおそれて外国へ移住しました。これは「ジャガイモ飢饉」として知られています。実はそのときジャガイモが疫病によって枯死しても、ほかに栽培されていた小麦等がたくさんありましたが、それはすべてイギリス政府が利益のためにイギリスの方に輸出し、アイルランド人の労働者が餓死したのです。そのせいでアイルランドの人口が大変減少してしまいました。現代アイルランドは、19世紀の人口に比べて減少している、西欧で唯一の国です。やはり「ジャガイモ飢饉」は、アイルランドの最もひどい時期だったと言えるでしょう。何年か後に、ジャガイモ栽培がまたできるようになって繁栄しました。

現在アイルランド共和国では、ジャガイモが主食で皆に愛されている強い愛国心を感じさせられる野菜です。

今度ジャガイモを食べる時、アイルランドのジャガイモ飢饉のことを思い出して、感謝しながら美味しく召し上がってください。そして私は、これからどこの国に行ってもスイカを食べたら日本の暑い夏を思い出します。

公民館訪問［第8回 香河地区公民館］ 地区公民館活動

香河地区公民館は、かなり古くなった建物ではありますが、会合、行事など区民をつなぐ場所として利用していただいています。毎月公民館と周辺を各組交代で掃除をして大切にしています。

●区民をつなぐ グランドゴルフ大会

グランドゴルフ大会は毎年6月に実施しています。誰もが楽しめるグランドゴルフは多くの区民の皆さんが参加していただける取り組みになっています。

忙しい田植えも一段落し、束の間ではあっても、仕事を忘れ、プレーをしながら皆さんと話し、笑い、大きな声を出して少しは気分転換になるひとときになればと思います。区民の皆さんの親睦と高齢者とのふれあいの場としても意義のあることだと思います。

グランドゴルフ大会は楽しみです

こうしたなかで別の事業等の理解も必ず広がっていくものと考えます。これからも継続していきたいと思います。

●少子高齢化による課題

香河地区は全戸合わせても50戸あまりで、このなかで人を集め事業をしていくのは非常に困難であることを改めて痛感しているところです。世代間交流をするにも、中学生４人余り、小学生に至っては一人もいない状況のなかで、何をすれば楽しめるのか、何をすれば喜ばれるのか、試行錯誤の日々で、どうしたら人が集まっていただけるのかが今後の課題のひとつです。

●今後広めたい取り組み

今年も昨年の取り組みを継続しつつ、一つでも二つでも新しい取り組みが出来たらと思っています。男性中心の取り組みが多いので、女性が参加しやすいものづくりの事業を計画したいと思っています。

図書館へ行こう！ BOOKS

●今月のオススメの１冊

もうすぐ夏休み

夏休みの楽しい日々をいつまでも・・・
思い出を大切に残しておきたいという方へとっておきの１冊を紹介！

『思い出をコラージュ スクラップブッキング』
ｍｉｃｋ＋ｃｈａｌｋ／文化出版局

たくさん撮った写真をもっとうまく残したい、でもただアルバムに張るだけでは物足りないなら、この「スクラップブッキング」はいかが？オリジナルアルバムの作り方をていねいに解説した１冊。

『ゴリラ日記』
あべ弘士／小学館

「にっきをつけよう」と決めたゴリラのごんた。日記帳を買いに行ったゾウさんのお店で、バナナをあげると、お釣りにスイカをもらいました。そんなごんたの毎日が、大らかなタッチで綴られている楽しい絵本。

『作文なんてカンタンだ！（斉藤孝のスバリ！攻略シリーズ）』
斎藤孝／ＰＨＰ研究所

夏休みの宿題には日記や読書感想文など、作文を書くことが多いのでは？作文が苦手な人でもこの本を参考に「今すぐやること」をチェックすれば大丈夫。内容のアイデアや分かりやすい文章を書くコツを教えてくれる頼もしい１冊です。

『日記の魔力 この習慣が人生を劇的に変える』
表三郎／サンマーク出版

日記といえばなかなか続けられないという印象がある一方、今はブログなどを活用して毎日を書き記している方も多いのでは。この本では、日記歴３０年の著者が、日記の書き方、続け方、その効果的な活用法を伝授しています。

今月の新着図書

一般書
●『新しい自分に生まれ変わる「ニーチェの導き」』 ニーチェ／三笠書房 ●『山下マヌーの１０年使えるハワイの遊び方』 山下マヌー／エイ出版社 ●『女は後半からがおもしろい』 坂東真理子著／潮出版社 ●『ＰＲＡＹ ＦＯＲ ＪＡＰＡＮ』 ｐｒａｙｆｏｒｊａｐａｎ．ｊｐ／講談社 ●『ガリレオ工房の科学マジック』 ガリレオ工房／新星出版社 ●『ツレと貂々、うつの先生に会いに行く』 細川貂々／朝日新聞出版 ●『わがやのホットちゃん』 にしむらあつこ／クレヨンハウス ●『咲くも咲かぬも花嫁修業』 阿川佐和子／東京書籍 ●『おにぎりはどの角から食べるのがマナーですか？』 吉野椰枝子／祥伝社 ●『俳句文法心得帖』 中岡毅雄／ＮＨＫ出版 ●『飲めば都』 北村薫／新潮社 ●『人の道御三神といろはにブロガーズ』 笙野頼子／河出書房新社 ●『私たち崖っぷち』 ジョシュア・フェリス／河出書房新社

児童書
●『カメレオンのレオン』 岡田淳／偕成社 ●『まちがえやすい日本語クイズ』 北原保雄／金の星社 ●『鉄は魔法つかい』 畠山重篤／小学館 ●『カブトムシクワガタムシのひみつ』 今森光彦／ひかりのくに ●『万里の長城』 加古里子／福音館書店 ●『動く！遊べる！小学生のおもしろ工作』 ｅｃｏ／成美堂出版 ●『ちいさな死神くん』 キティ・クローザー／講談社 ●『ぶた にく』 大西 暢夫／幻冬舎エデュケーション ●『世界は気になることばかり』 五味太郎／偕成社 ●『ピアノはともだち』 こうやまのりお／講談社

Info

～図書館からのお願い～

図書館を多くの方に利用していただく季節がやってきました。

夏休みの課題や、調べ物など少しでも多くの方のお役に立ちたいと考えています。

来館いただく際には、マナーを守って、皆さんが気持ちよくご利用いただけるようにご協力をお願いします。

◆限られた期間に利用が集中してしまう本もありますので、お早めにお尋ねください。
◆「青少年読書感想文コンクール」・「京都新聞おはなしを絵にするコンクール」の課題図書は、できるだけ多くの方にご利用いただくために夏休み期間中の貸出期間を１週間とさせていただきます。
◆図書館の中での飲食や携帯電話の通話、大きな声で騒ぐなど、ほかの利用者の方に迷惑となる行為は ご遠慮ください。

図書館おはなし会

図書館おはなし会は本館・野田川分室・加悦分室ともにお休みです。

●問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087
●開館時間／午前 10 時～午後６時 ●休館日／毎週月曜（本館・加悦分室）、毎週火曜（野田川分室）、毎月最終木曜（共通）

●加悦谷高校キャリア教育（就職支援）

「よろしくお願いいたします！」

「１００年に一度の大不況」に「１００年で一番の支援体制」で応え、昨年に引き続き内定率１００％を目指す加悦谷高等学校で、６月26日キャリア教育「面接講座・模擬面接」が開催されました。

４回に渡り企画された講座の最終回となる「模擬面接」には３年生の就職希望生徒18人が受講しました。

講義では、「企業は10分程度の面接で生涯賃金３億円を支払う人材を見定める必要がある。面接官はお辞儀のしかたや声の大きさ、礼儀作法、身だしなみなど細かなチェックをする」と講義しました。

本番さながらの「模擬面接」では、これまでに努力してきたことや、そこで得たことなどについての質問を受けると、生徒らは緊張しながらも真剣な面持ちで受け答えをしていました。

講師からは「自己ＰＲには、自分の良いと思う要素をどんどん付け加え完成度を高めるように」「就職戦線に打ち勝つにはこれからの２ヵ月が大切、希望の会社に入れるよう精一杯の努力をしてほしい」と生徒らにアドバイスをしました。

参加した吉井愛子さんと藤原千愛美さんは、「専門家のアドバイスがとてもわかりやすく勉強になった」また「取り組み始めたばかりで自信がなかったが、４回の講座で自信が持てるようになった」と頼もしい口調で語っていました。

写真上・下／模擬面接を受けました

キレートマリンを沈める生徒たち

●阿蘇海復活プロジェクト

橋立中の生徒たちが環境保全を実習

６月27日、阿蘇シーサイドパークで「阿蘇海復活プロジェクト」の一環として、橋立中学校１年生の生徒たちがキレートマリンとバイオコロニーを海底に沈める体験をしました。

キレートマリンは、鉄イオンによって発生したプランクトンのはたらきで、バイオコロニーは中に含まれる微生物のはたらきで、ヘドロを分解し、水質を浄化させ、生態系を改善させるものです。

参加した生徒たちは、事前に阿蘇海浄化についての環境学習を行っており、今回の体験でその内容を実践したことで、環境保全についての意識を新たにしていました。

主催した「NPO法人丹後自然を守る会」の蒲田充弘さんは「子供たちの活動を通してもっと地域の人にも関心を持ってもらいたい」と語っていました。

●三河内小学校国際交流の取り組み

アンニョン！こんにちは！

６月27日、三河内小学校に韓国南ソウル大学校の学生ら28人が訪れ、児童たちと交流を楽しみました。

今回の学生訪問は、独立行政法人国立青少年教育振興機構「国立若狭湾青少年自然の家」が文部科学省の委託事業として取り組む環境学習事業の一環として、三河内小学校の子どもたちとの交流が実現しました。

前日の天橋立の海岸清掃活動を経て、三河内小学校での授業参観と１年生から３年生が参加したレクリエーションをとおして交流を深めました。

稲垣成光校長は「子どもたちに『国際交流』をとおして広い視野を持った人材を育てたい。今後も子どもたちの国際感覚育成に積極的に取り組んでいきたい」「短時間ではあったものの、国境を感じさせない実りある印象深い交流となった」と今回の訪問を振り返りました。

一行は翌日福井に移動し、海岸の漂着物の回収を行った後、交流事業を終えて帰国の途につきました。

レクリエーションで盛り上がりました

●京都府体育指導委員研究大会

スポーツ普及の取り組みを発表

６月18日、福知山市三段池公園で「第44回京都府体育指導委員研究大会」が開催され、京都府内から約400名、与謝野町からは21名の体育指導委員が参加し、各取り組みの発表、講演会などが行われました。

プログラムの活動事例発表では、与謝野町体育指導委員会が「スポーツのすそのを広げるために」と題し、体育指導委員の主たる目的である生涯スポーツ普及のために特に力を入れている「スポーツフェスタよさの」という障害や年齢に関係なく誰でも楽しめるニュースポーツ普及イベントについて発表しました。

大垣忠博さんによる講演の様子

参加した体育指導委員たちはほかの市町村の独特な取り組みの報告に真剣な様子で聞き入っていました。

葦戸が涼しげな旧尾藤家

●旧尾藤家「夏のしつらえ展」

与謝野モダンを堪能

６月７日から９月４日にかけて加悦のちりめん街道にある府指定有形文化財の旧尾藤家住宅で「夏のしつらえ展」が開催されています。江戸時代から続くちりめん商家の旧尾藤家が、ふすまを葦戸に替えるなど夏のしつらえとなり、一単の着物や、すだれ、うちわ、扇風機などの展示とともに、かつての丹後の夏の様子を感じさせます。

訪れた人は見事な屋敷と、涼しげな夏の装いに与謝野モダンを堪能していました。

●小規模多機能型居宅介護施設が開設

地域に密着したサービスを提供

今年５月に与謝野町に新たに２つの福祉施設が開所されました。５月１日には岩滝地区に「ユメライフはしだて」、６月１日には後野地区に「みんなのうち後野」開所され、それぞれ「メディカルケアタカオカ」と「NPO法人丹後福祉応援団」によって運営され始めています。

小規模多機能型居宅介護施設とは、デイサービス、ショートステイ、訪問介護などのさまざまなサービスを利用者の状況に応じて組み合わせて提供することで、住みなれた家や地域での生活を続けることを可能にする、地域密着型の福祉施設です。それらのサービスに加えて「ユメライフはしだて」は高齢者専用住宅が、「みんなのうち後野」には障害者グループホームが併設されていることが特徴です。

写真上／ユメライフはしだて　下／みんなのうち後野

一条ずつ一斉に手植えをしました

●田植え体験祭

みんなでワイワイ米づくり！

野田川地域で特別栽培米を中心に生産する「ビッグファーマー野田川」（成毛義明会長）による恒例の「田植え体験祭り」が６月５日、野田川わーくぱる前の水田で開催されました。

農作業体験を通じて農業に対する理解を深めてもらおうと毎年開催されているもので、ビッグファーマー野田川の消費者や町内の小学生など約120人が参加。田植え機による実演を見学した後、豊作を願い、むかしながらの手植えで丁寧に苗を植えていきました。

功績・功労をたたえて

地方自治の発展と振興への功績・功労が評価され、西原一男さんが旭日単双章を、山本隆夫さんが旭日単光章を受賞され、地域の教育に大きく貢献した上野充正さん・村井研三さんが瑞宝双光章を受章されました。そして、伊藤幸男さん・野村生八さんが、地方自治への大きな貢献に対して府が表彰する市町村・地域自治功労者表彰を、井田義之さんが、地域のスポーツ普及・振興への貢献に対し、府体育協会から三色旗功労賞を受賞されました。

旭日単双章
西原（にしはら） 一男（はつお） さん

故西原一男さん（与謝）は、昭和45年に加悦町議会議員に初当選して以来、24年の永きにわたり在職し、この間、加悦町総務常任委員会委員長、加悦町建設常任委員会委員長など議会の要職を歴任しました。また、昭和57年から4年間は加悦町議会副議長として、昭和61年からは6年間は同議会議長として円滑な議会運営に尽力し、町政並びに地方自治の発展に多大な貢献を果たしました。

旭日単光章
山本（やまもと） 隆夫（たかお） さん

故山本隆夫さん（滝）は、昭和57年に加悦町議会議員に初当選して以来、12年の永きにわたり在職し、その間、加悦町産業常任委員会委員長、加悦町議会総務文教常任委員会委員長などの要職を歴任し、地域の活性化と福祉の向上に多大な貢献を果たしました。また、昭和59年から3年間は滝区長を務め地域コミュニティの発展に貢献しました。

瑞宝双光章
村井（むらい） 研三（けんぞう） さん

故村井研三さん（算所）は昭和18年から38年間、与謝管内の小学校に勤務し、昭和49年からは与謝小の学校長を務めました。教諭時代には、理科教育などに尽力し、与謝小学校長時代には、研究会や報告発表の場を設けて教師の資質向上に努め、また、地域住民との交流にも力を注ぎ、学校教育のみならず地域社会の発展にも大きな貢献を果たしました。

瑞宝双光章
上野（うえの） 充正（みちまさ） さん

上野充正さん（加悦）は昭和30年から37年間、与謝管内の小学校に勤務し、昭和61年からは山田小、桑飼小の学校長を歴任、児童の体力づくり、歯磨き指導、稲刈り体験の開催、交通安全教室の実施などさまざまな取り組みに力を注ぎました。また、退職後も地域の社会体育に献身的に取り組み、平成12年から6年間は加悦町体育協会会長を務めました。

市町村・地域自治功労者表彰
伊藤（いとう） 幸男（ゆきお） さん

伊藤幸男さん（加悦）は、昭和61年に加悦町議会議員に初当選して以来、24年の永きにわたり加悦町議会議員及び与謝野町議会議員として在職し、その間、加悦町議会副議長をはじめ、加悦町議会総務文教常任委員会委員長、与謝野町議会広報特別委員会委員長などを歴任し、町政の推進と議会の円滑な運営に尽力し、地方自治の確立と発展に大きく貢献しました。

市町村・地域自治功労者表彰
野村（のむら） 生八（しょうはち） さん

野村生八（三河内）さんは、平成3年4月、野田川町議会議員に初当選して以来、20年の永きにわたり野田川町議会議員及び与謝野町議会議員として在職し、その間、野田川町総務産業委員会委員長をはじめ、野田川町議会運営委員会委員長、与謝野町文教厚生常任委員会委員長などを歴任、町政の推進と尽力し、地方自治の確立と発展に大きく寄与しました。

三色旗功労賞
井田（いだ） 義之（よしゆき） さん

井田義之さん（石川）は、平成15年以来、旧野田川町体育協会会長、平成18年度からは与謝野町体育協会会長を歴任し、与謝野町体育協会の設立、与謝野町一周駅伝の開催、体協だよりの発行など地域におけるスポーツの普及・振興に大きく貢献し、京都府スポーツ界の充実・発展に尽力しました。この功績が評価され体育協会表彰として最高位の三色旗功労賞を受賞しました。

文化の感動 京都国文祭

心を整える～文化発心
第26回国民文化祭・京都2011 Vol.12

「与謝蕪村顕彰『俳句大会』」事前投句の受け付け 終わる！

13488句の応募がありました

4月1日から始まった国民文化祭「与謝蕪村顕彰『俳句大会』」事前投句作品の応募受付は、6月30日で終了しました。

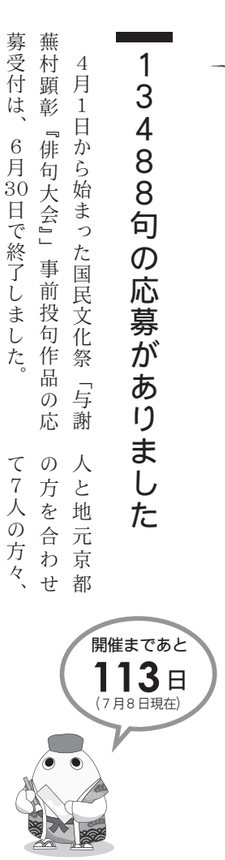
最終集計ではありませんが、6月26日現在で「一般の部」で7195句、「小・中・高校生の部」で6293句の応募がありました。

今回は、俳句大会の投句作品の審査をお願いする選者についてご紹介します。

選者のお名前は、募集要項に記載していますが、事前投句「一般の部」の選者には、全国的な俳句団体である、社団法人日本伝統俳句協会、社団法人俳人協会、現代俳句協会の3団体から5人ずつ、その中には各会長の稲畑汀子（いなはたていこ）様、鷹羽狩行（たかはしゅぎょう）様、宇多喜代子（うだきよこ）様にも入っていただいています。加えて、地元の京都俳句作家協会や京都府北部在住の俳人の方にもお世話になり、計22人の方に選者をお願いしています。また、「小・中・高校生の部」では、3団体から各1人と地元京都の方を合わせて7人の方々、さらに当日投句は、3団体からの6人と地元京都の方を合わせて、12人の方に選者をしていただくことになっています。

今回の国民文化祭「俳句大会」では、現在の日本を代表する俳人の方々に審査をしていただきます。8月下旬には中央選者会議を開催して、そこで、2つの部門それぞれに「文部科学大臣賞」を初めとする入賞17作品を決定していただくことにしています。

なお、俳句大会当日には、事前投句入賞者の表彰式に続き、選者を代表して3団体の各会長様より、入賞作品の講評をしていただくことになっています。また、当日投句の審査も行い、入賞者の表彰と入賞作品の講評をしていただくことにしています。



PR隊長まゆまろ

「天空を走れ！第6回よさの大江山登山マラソン大会」

登山マラソン参加者を募集しています

問 教育推進課 ☎43-2193

今年は、あの「走る男」森脇健児（もりわきけんじ）さんをゲストランナーにお迎えし、9月18日（日）午前10時に大江山運動公園をスタートします。

高低差800mの自然豊かな大江山を駆け巡る23・5kmのメインコースをはじめ、ちりめん街道を通り抜ける10kmの部、ファミリー用に設定された3・5kmの部の種目を準備しています。皆さんの参加をお待ちしています。

森脇健児さんも走ります

【主催】 よさの大江山登山マラソン実行委員会

【申込締切】 8月12日（金）当日消印有効・又は直接申し込みも可

【問い合わせ先】 よさの大江山登山マラソン実行委員会事務局（与謝野町教育委員会内）☎43・2193

●種目

種目	年齢別部門 男	年齢別部門 女	スタート時刻	参加料
大江山縦走コース 23.5 km	1部（高校生以上39歳以下）	3部（高校生以上39歳以下）	10：00	4,000円
	2部（40歳以上）	4部（40歳以上）		
ちりめん街道コース 10 km	5部（中学生以上39歳以下）	7部（中学生以上39歳以下）	10：10	3,000円 中学生2,000円
	6部（40歳以上）	8部（40歳以上）		
チャレンジコース3.5	小学生以上の男女		10：15	1,000円

秋の大江山を背に、宣誓をする選手たち

「健康保険証」が更新されます！

証の有効期限は7月31日までです

問 保健課 ☎ 43-1514

7月下旬までに郵送します

次の証の交付を受けている方は、有効期限が平成23年7月31日となっていますので、新しい証への更新が必要となります。

8月以降有効となる保険証は、7月下旬までに対象世帯に郵送で送付しますので、届いたら必ず内容をご確認ください。

●更新となる保険証

・国民健康保険証
・後期高齢者医療制度被保険者証
・福祉医療費受給者証（老人・障害・母子）
・国民健康保険高齢受給者証

8月以降に受診されるときは、新しい保険証を提示してください。

※保険税・料に滞納がある世帯は、窓口交付しますので、保健課および各地域振興課窓口までお越しください。

●限度額適用認定証、標準負担額減額認定証（緑）が交付されている方

8月以降引き続き入院を予定される場合には、認定証の更新が必要です。更新には申請手続きが必要なため、印鑑をご持参のうえ保健課および各地域振興課窓口までお越しください。

限度額適用認定証について

入院することになったとき、事前申請により、限度額適用認定証（住民税非課税世帯の方は標準負担額減額認定証をあわせて）が交付されます。この認定証を医療機関の窓口に提示すると、一医療機関での支払いが負担限度額までとなりますので、入院時の負担が軽減されます。（保険税・料を滞納していると交付されない場合があります）

役場交付は次の方です。

・国民健康保険に加入する方（70歳以上の場合、住民非課税世帯に属する方）
・後期高齢者医療制度に加入する住民税非課税世帯に属する方
・福祉医療受給者証（老人）を交付されている住民税非課税世帯に属する方

「ひまわり15万本」ひまわりの暑い夏がやってくる！

イベント期間は8/6（土）～8/14（日）の9日間

問 商工観光課 ☎ 46-3269

「ひまわり15万本イベント」が8月6日から8月14日まで、野田川わーくぱる周辺を会場として開催されます。

どろんこバレーボール大会、かかしコンテストなど、ひまわり畑の風物詩となった催しが企画され、盛りだくさんの内容となっています。

各催しでは、参加者や作品を募集しています。参加希望者は、役場各庁舎に備え付けの募集チラシ・申込書か、町ホームページからダウンロードし、実行委員会事務局までお申し込みください。

問 与謝野町ひまわり実行委員会事務局（商工観光課 ☎46・3269）

［どろんこバレーボール大会］

珍プレー続出の大会に出場してみませんか？

【開催日】8月7日（日）
※小雨決行
【募集チーム数】最大32チーム（高校生以上、男女の別は不問）
※定数を超える場合は抽選により出場チームを決定する場合があります。
【チーム編成】1チーム3名（選手登録は6名まで）
【参加料】2000円
【申込締切】7月15日（金）

この日ばかりは、どろんこになっても大丈夫！

［ミックスダブルス卓球大会］

想像以上の迫力を経験してみませんか？

【開催日】8月7日（日）
【募集ペア数】
●最大70ペア
●ミックスダブルスとし男女2名の合計年齢（平成23年4月1日現在）は次のとおり。「第1部／ペアで100歳未満」「第2部／ペアで100歳以上130歳未満」「第3部／ペアで130歳以上」
※定数を超える場合は申し込みをお断りする場合があります。
【参加資格・編成】一般社会人（学生不可）で、必ず男女でペアを組むこと。
【参加料】1000円
【申込締切】7月15日（金）

［かかしコンテスト］

アイデアと工夫でグランプリをゲット

【登録締切】7月29日（金）
【表彰内容】グランプリ賞、準グランプリ賞等

［ひまわり写生会］

夏の思い出を大きな画用紙に

【開催期間】イベント期間
【参加資格】保育所（園）・幼稚園児、小学生
【題材】与謝野町ひまわり畑における絵画作品
【その他】参加申し込みの必要はありません。画用紙は野田川わーくぱるでお渡ししますが、絵の具等はご準備ください。

「よさの百年の暮らし委員会」

委員会を設立しました。 問 住民環境課 ☎ 44-2083

百年後の与謝野町の暮らしを見据えて

世界規模で地球温暖化等の環境問題が課題になるなか、町内でも住民や事業者の環境問題に対する意識の高揚を図り、問題解決への情報提供や取り組みの支援をする体制の整備が必要との機運が高まっています。

そこで、昨年の12月に準備委員会を立ち上げ、「環境問題を考える組織づくり」について協議を重ねてきました。

そして、町内の有識者や公募を行い、12人の委員を委嘱し、4月27日、「よさの百年の暮らし委員会」を設立しました。

当日は、太田町長から委嘱状が手渡され、「百年後の与謝野町の暮らしを見据えて、今、私たちが何をなすべきかという視点で、与謝野町の環境問題を広く検証し、生活の身近なところから改善策を見出していただきたい。そのなかで行政として、また町全体の問題として取り組むべき課題についてご協議をお願いしたい」「今年度は、与謝野町の地球温暖化防止実施計画を策定することとしている。委員の皆さんにもご協力をお願いしたい。地球温暖化防止は、環境問題のなかでも緊急の課題と認識しており、私たちの暮らしに密接にかかわる課題であることから、町民の暮らしを考える意味でも、この委員会の今年度の主要議題として是非ご協力をお願いしたい」とあいさつしました。

委員会は、会長に小西順子さん、副会長に植田泰史さんを選出し、今後、ワークショップを開催して委員会の活動方針を決定するなど、与謝野町の地球温暖化防止等環境改善に取り組むこととしています。

●委員の皆さん【敬称略】

小西順子（こにしじゅんこ）（下山田）
植田泰史（うえだやすし）（男山）
蒲田充弘（かばたみつひろ）（岩滝）
後藤敏子（ごとうとしこ）（三河内）
岸部敬（きしべたかし）（石川）
茂籠好彦（もかごよしひこ）（下山田）
小谷安博（おだにやすひろ）（後野）
大江祐介（おおえゆうすけ）（男山）
品川朋子（しながわともこ）（男山）
安見早苗（やすみさなえ）（岩滝）
井上重子（いのうえしげこ）（金屋）
小林由美（こばやしゆみ）（加悦）

委員の皆さんに委嘱状を手渡しました

シリーズ㊶

男女共同参画

── 夏季のエネルギー対策 ──

省エネ・節電の実践をお願いします。

京都府では、東日本大震災を受け、関西圏においても懸念される夏場の電力需要に対処するため、官民共同で省エネルギーや節電等に積極的に取り組むこととしています。

与謝野町でも、不要な照明やパソコンの電力カット、クールビズ、室内温度設定の適正化、グリーンカーテンなどの取り組みを実施しています。

町民の皆さん、また、事業者の皆さんも、できる範囲での省エネ・節電の実践をお願いします。

5月入札結果

問 総務課 ☎ 46-3003

入札日	工事名	場所	業者数	落札業者名	予定価格（千円／税抜）	最低制限価格（千円／税抜）	落札金額（千円／税抜）	落札率（%）	工事期間
5/24	岩屋小学校高架タンク更新工事	岩屋	10者	㈱杉建	3,090	2,638	2,638	85.3	6/2～6/20
5/24	各学校遊具更新工事	明石他	10者	㈱三野工務店	5,905	5,143	5,143	87.1	6/2～7/30
5/24	金屋地区公民館集会室エアコン新設工事	金屋	3者	矢野電器㈱	2,630	2,223	2,410	91.6	5/31～6/30
5/24	加悦保育園電気設備等改修工事	加悦	3者	山崎電気㈱	6,040	5,119	5,600	92.7	6/1～7/29
5/24	統合簡水加悦上水道新加悦浄水場新設（土木その2）工事	算所	4者	砂後建設㈱	46,948	39,974	39,974	85.1	6/3～12/20
5/24	三河内簡易水道送配水管布設工事	三河内	5者	砂後建設㈱	28,370	23,934	23,934	84.3	6/3～1/30
5/24	統合簡水加悦上水道送配水管布設（2工区）工事	加悦奥	3者	㈱山添電気	51,780	43,985	43,985	84.9	議会の議決日の翌日～1/31
5/24	統合簡水加悦上水道送配水管布設（1工区）工事	加悦奥	2者	砂後建設㈱	105,150	90,045	90,045	85.6	議会の議決日の翌日～2/28
5/24	三河内簡易水道配水施設新設工事	三河内	9者	石本建設㈱	163,441	143,001	143,001	87.4	議会の議決日の翌日～12/20

産業振興会議では活発な議論が行われています

中小企業振興基本条例プロジェクトチーム発足

問 商工観光課 ☎ 46-3269

129の行動プログラムを具現化するために

昨年11月に発足した「与謝野町産業振興会議」（寺島節郎会長）では、商工会や商業団体からの推薦者と一般公募者による24人の委員が6月22日までに6回の会議を重ね、平成21年度に策定した「与謝野町産業振興ビジョン」に掲げられた129の行動プログラムの具現化に向けて熱心な議論が行われています。

中小企業振興基本条例の制定を最重要課題に

5月13日に行われた第5回会議では、「中小企業振興基本条例」※の制定を最重要課題として取り組むため、その骨子をとりまとめるプロジェクトチームを設置することが決められました。

委員内で公募したプロジェクトチームには9人が参加。6月9日に行われた初会合では、座長に岸部敬さん（石川）が選任され、11月中に町長に対し提言書を提出することを目標に取り組んでいくことが確認されました。委員からは、「中小企業や個人事業主は、経済活動だけでなく、消防団や地域の行事などさまざまな住民活動の担い手。条例はそういった担い手である中小企業を応援していくことを、この町の理念・意思として明示するもの」「中小企業を守ることは、住民・くらしを守ることにつながる」など、条例についての共通理解を深めようと意見交換が行われました。

条例制定に向けた動きと並行して、その他の行動プログラムについては、数あるなかから優先的に取り組むべきものの選別と議論を産業振興会議において行っているほか、行動プログラム以外に緊急的に取り組むべき事業・施策についても検討しています。

産業振興会議関連の情報は町ホームページで公開

会議結果や行動プログラムの進捗状況は、町ホームページで閲覧できます。また、産業振興会議は今後、月に1回のペースで開催される予定です。原則公開としていますので、ぜひ傍聴にお越しください。

毎回熱心な議論が展開される産業振興会議

※中小企業振興基本条例とは

地方自治体が、地域経済の担い手であり、地域振興（まちづくり）の担い手でもある中小企業をその振興を行政の柱としていくことを明確にするために策定される条例です。これまで制定された自治体では、名称は多少異なるものの、地域における中小企業振興への役割、中小企業者・住民の役割などに自治体・住民の役割などにふれ、地域全体で地域の中小企業を支えることを明確にしています。

7/31（日） 京都府警察就職説明会

あなたも参加してみませんか

- **開催日時** 7月31日（日） 午後3時30分から午後5時まで
- **開催場所** 京都府宮津警察署
- **説明会内容** 警察の組織と職務内容・採用試験ガイダンス・警察学校の生活の紹介・若手警察官からの体験発表など
- **申し込み締め切り** 7月29日（金）
- **申し込み先** 京都府警察本部刑務課採用係 フリーダイヤル 0120・555・314

ご存知ですか？固定資産税の減額制度

省エネ改修・バリアフリー化・耐震改修

問 税務課 ☎ 44-2084

住宅の省エネ改修工事をはじめ、バリアフリー化の改修工事、耐震改修工事を実施した場合、工事が完了した年の翌年度以降、一定期間に限り固定資産税を減額する制度があります。

減額制度の適用を受けるためには、いずれの場合も「改修工事終了後3ヵ月以内」に必要書類を添付した申告書を町に提出することが必要です。ご不明な点は税務課までお問い合わせください。

省エネ改修

【減額要件】

●平成20年1月1日以前に建築された住宅で、新築住宅の軽減特例や耐震改修工事に伴う軽減措置の対象となっていないこと

●窓・床・天井・壁の断熱性を高める改修で、工事費が30万円以上であること（窓改修工事は必須）

●平成20年4月1日～平成25年3月31日までの間に改修工事を完了し、完了日から3ヵ月以内に税務課へ申告すること

【減額内容】 工事完了年の翌年度分に限り、1戸当たり120平方㍍の床面積相当分までの固定資産税額の3分の1を減額

バリアフリー化

バリアフリー化

【減額要件】

●平成19年1月1日以前から存在し、▽改修工事完了年の翌年1月1日現在で65歳以上の方▽要介護認定または要支援認定を受けている方▽障害のある方（地方税法施行令第7条該当）―のいずれかの方が居住する住宅（賃貸住宅を除く）であること

●平成19年1月1日以前に建築された住宅で、新築住宅の軽減特例や耐震改修工事に伴う軽減措置の対象となっていない住宅であること

●補助金等を除く自己負担額が30万円以上であること

●平成19年4月1日から平成25年3月31日までに改修工事を完了し、完了日から3ヵ月以内に税務課へ申告すること

【減額内容】 工事完了年の翌年度分に限り、1戸当たり100平方㍍の床面積相当分までの固定資産税額の3分の1を減額

耐震改修

【減額要件】

●昭和57年1月1日以前に建てられた住宅であること

もしもの時に備えて耐震改修

●現行耐震基準に適合した耐震改修で、工事費が30万円以上であること

●平成27年12月31日までに改修工事を完了し、完了日から3ヵ月以内に必要書類を添えて税務課へ申告すること

【減額内容】 工事完了年の翌年度分から左表の期間、120平方㍍の床面積相当分までの固定資産税の2分の1を減額

工事完了期間	減額期間
平成22年1月1日～平成24年12月31日	2年度分
平成25年1月1日～平成27年12月31日	1年度分

今月の納期

8/1（月）まで
固定資産税 2期
国民健康保険税 2期

夜間納税窓口

7/28（木）29（金）8/1（月）
いずれも午後8時まで
野田川庁舎（税務課）
※納付書をご持参ください。

与謝野町役場 ☎ 46-3001（代表）

- 岩滝地域振興課 ☎ 46-3002
- 総務課 ☎ 46-3003
- 企画財政課 ☎ 46-3084
- 建設課 ☎ 46-3267
- 商工観光課 ☎ 46-3269
- 会計室 ☎ 46-3007

野田川庁舎 ☎ 44-2081（代表）

- 野田川地域振興課 ☎ 44-2082
- 住民環境課 ☎ 44-2083
- 税務課 ☎ 44-2084
- 水道課 ☎ 44-2085
- 下水道課 ☎ 44-2086

加悦庁舎 ☎ 43-1511（代表）

- 加悦地域振興課 ☎ 43-1512
- 福祉課 ☎ 43-1513
- 保健課 ☎ 43-1514
- 農林課 ☎ 43-2191
- 議会事務局 ☎ 43-0215
- 教育委員会 教育総務課 ☎ 43-2192
- 教育委員会 教育推進課 ☎ 43-2193

おめでとうございます（敬称略）

町内に配布している広報誌には掲載しています

お悔やみ（敬称略）

町内に配布している広報誌には掲載しています

まちのうごき

平成23年5月末現在

人口	24,383人	（－21）
男	11,521人	（－11）
女	12,862人	（－10）
世帯数	9,137戸	（＋12）

※括弧内は前月比

※この欄で紹介する出生とお悔やみは、5月16日から6月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

よさの人 Vol.26

家具職人

大野 博史さん

工芸の里「新緑の手仕事展」の仕掛け人

5月21・22日に今年も手仕事の職人が集まる「与謝野町文化工芸の里」で行われた「新緑の手仕事展」。里で創作活動を行っている職人たちを中心に、個性豊かな手作りの品々が展示・販売されました。今年で3度目となるこの催し。実はある職人の取り組みがきっかけとなり、ほかの職人たちが参加することで始まりました。「新緑の手仕事展」の仕掛け人、家具職人の大野博史さんです。

大野さんの家具は木が本来持っている丸みを利用した独特の温かさが特徴。自然な木の質感や木目からは木の息遣いまで聞こえてくるようです。

工芸の里の「ギャラリー樺」で家具作りに励む大野さんは、以前は大阪で建築の仕事をしていました。ものづくりが好きという大野さん。大阪での修行時代には、技術だけでなく、忍耐力や社会でどう生きていくかといったことを当時の社長に教わったといいます。しかし、「ものづくりにおいて最初から最後まで自分で完結させたい」「仕事においても自分の形を大切にしたい」という思いから43歳のときに脱サラして現在の道へ。

そして、当時募集のあった工芸の里へ移り住み、家具職人としての創作活動を開始。平成5年に工芸の里に移ってきた当時、最初に「手作り」したのは作業場でした。「こちらが長らく本職だったからね」と笑う大野さん。テントと軽自動車をねぐらに木造平屋建ての作業場を完成させ、次いで3年後にはギャラリーも完成。ここにも「自らの手で完結させたい」というものづくりへのこだわりが感じられます。

また、独自に「手仕事の仲間展」を開催。平成20年までに計12回開催しました。そして、平成21年度には、染色・織物職人であり、「クラフト樺」をともに営む妻の久美子さんと協力して工芸の里のほかの職人たちにも声をかけ、工芸の里の作品が一堂に集う「新緑の手仕事展」を初めて開催しました。以来、今年までに3回行われ、開催する2日間で数百人が訪れる活気あふれるイベントとなっています。

「ものづくりに興味があり、熱意とやる気がある人は応援してあげたい」といいます。これまでに3人を弟子にしました。「ものづくりは体で覚えないといけないことが多く、辛抱が必要な仕事」「製作の技術は教えられるが、自分の作品を売る相手を見つけるのは人それぞれのつながりが大切なので教えることはできない」とものづくりという仕事や職人の世界の厳しさも語りますが、「それでも立派に独立して家族を養ってくれている」と目を細めます。

「手仕事の品に触れてもらうことでものづくりについて関心をもってもらいたいですね」

Profile 大野 博史（おおの ひろし）

昭和25年大阪府堺市生まれ。61歳。建築の仕事を経て、平成5年から木工による家具の製作を始め、工芸の里へ移り住む。活動拠点の「ギャラリー樺」は妻の久美子さんとともに営んでいる。

温かみがあふれる大野さんの作品

発行 与謝野町役場 編集 企画財政課
〒629-2292 京都府与謝郡与謝野町岩滝1798番地1
TEL 0772-46-3084（直通）
FAX 0772-46-4630
URL http://www.town-yosano.jp/
Email kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp